

八王子市青少年健全育成基本方針

家庭・学校・地域の連携のもと 健全な「はちおうじっ子」を育てよう



次代を担う青少年が意欲や自信を持って健やかに成長し、自立した心豊かな社会人になることは、市民すべての願いです。本市の青少年健全育成の目指すところは、青少年が様々な人とかわりながら、豊かな人間性や、判断力、健全な心と体を獲得し、自ら力強く生きるとともに、新たな時代を拓く力をつけていくことにあります。そのためには、基礎となる家庭での教育の充実と、それを支える地域ぐるみでのつながりを育む環境づくりが必要です。八王子に暮らす大人一人ひとりが青少年を育成する担い手です。子どもたちのために、それぞれが持ちうる力によって、心を通わせ理解しあえる豊かな地域社会を構築していくことが大切です。

八王子市では青少年の健全育成を推進していくために、家庭・学校・地域、そして、市及び関係行政機関の役割とそれぞれの責任ある行動の基本となる方針を掲げました。ともに手を携え、これらの方針を実現していくことで、意欲あふれる健やかな「はちおうじっ子」を育成していきます。

家庭の役割 子どもの健やかな成長の基本

- 親から子へ伝えよう、思いやり・感謝の気持ちの大切さ
- おはようから始まる基本的な生活習慣と家族で作ろう、みんなのきまり
- 地域に目を向け、親子で一緒にやってみよう

学校の役割 家庭・地域とともに、生きる力を育む教育

- 学ぶ意欲や豊かな心を育む教育
- 健やかな心と体を育む体験活動の充実
- 地域とつながる学校づくり

地域の役割 一人ひとりの力を持ちより、高める地域の子育て力

- 地域の大人が手本となって続けていこう、あいさつ・声かけ
- 青少年が活躍できる地域づくり
- 人とひととのつながりで広げていこう、地域の安全・安心

市・関係行政機関の役割 連携とサポート体制の充実

- 家庭・地域・学校をつなぐコーディネート機能の充実
- 青少年健全育成活動の支援
- 人材育成支援と情報提供の充実

平成 30 年度 八王子市青少年健全育成推進区域

八王子市青少年健全育成推進区域は、全市の青少年健全育成のモデル地区です。平成 30 年度は横川地区に決定しました。推進区域では、「あいさつ運動」や「横川小音頭の普及」、「防災訓練」などを実施し、地域住民への健全育成の啓発等を積極的に進めていきます。

調査・審議 八王子市青少年問題協議会
発行 八王子市
事務局 八王子市子ども家庭部児童青少年課
(Tel 042-620-7435 Fax 042-627-7776)

みんなでつないでいこう 思いやりの心

「子どもたちが、子どもらしさを発揮しながら健やかに育ち、夢や希望を叶えてほしい」という願いのもと、八王子市では市制 100 周年を機に多くの子どもが参加できる記念事業を開催しました。中でも、「子どもたちの思いを汲み、今後の市政にいかしていきたい」との考えにより小・中学生を対象に、2 年間にわたり開催した絵画・作文・標語コンテスト。これらに **15,300 点** を超える多くの作品が寄せられました。

表現豊かに未来へのメッセージが込められていた作品の数々。八王子の歴史への敬意、豊かな自然やお祭りなどの伝統への愛着。そして、どれほど便利な世の中になったとしても、大切にしたい

「人とひととの関わり」や「思いやりの心」。さらに、これらを八王子の良さとして、「自分自身が引き継ぐ一員となり、未来を切り拓いていきたい」という強い意志。子どもたちの絵画や言葉はどれも輝きに満ちていました。

これらの作品を通して子どもたちが夢や希望を胸に抱きながら、**相手を思いやる気持ち**をしっかりと育んでいることを多くの大人は、知ることができました。

そしてもう一つ、子どもたちが教えてくれたこと。それは多くの子どもたちが、ゆっくり時間をかけて育まれてきた自然や、人づてに大切に引き継がれてきた伝統行事に目を向け、これらをこよなく愛していること。こうした子どもたちの目線から、私たちは子育てにも通じる大切な大きなヒントを得ることができました。

子どもたちの心に確かに育まれている「思いやり」。市では、この「思いやり」こそが「いじめ」をなくす基本と考え、その大切さをしっかりと伝えていく取組を家庭・学校・地域と協力しながら進めています。今を担う、私たち大人が手を取り合い、未来を担う、子どもたちの健やかな成長をともに支えていきましょう。

つながり、ひろがる 思いやりの心

～未来に届け 音楽のすばらしさと学校の力～

昨年 11 月 23 日にオリンパスホール八王子にて、開催された市制 100 周年記念事業「みんなであげよう 八王子の未来」。このイベントでは、作文コンテストの表彰・発表、お囃子・合唱・吹奏楽・チアダンスなど総勢 500 名もの児童・生徒が参加しました。

その中でも八王子市の新たな試みとして行われたのは、市内中学校 17 校 114 名の生徒と先生により結成された吹奏楽団による演奏、そして、小学校 6 校 250 名の合同による合唱でした。

中学校の吹奏楽団は、夏休み明け間もないころから本番に向け、桐田中学校に集まり練習を重ねました。最初は譜面を覚え指揮を追うのがやっとで、同じパートであってもなかなか言葉を交わせなかった子どもたち。その子どもたちが気づいたこと。それは、ともに 1 つの音楽を作り上げるために大切なことは、市制 100 周年を機に出会った仲間たちと横のつながりを作ることでした。

一方、小学校の合唱団は、開催当日まで各学校で練習をし本番に望みました。その日初めて会った 250 名の大勢の子どもたち。その中には 1 年生の姿もありました。それぞれが学校で練習してきた歌を、他の学校の子と心を 1 つに歌う楽しさを知るとともに、目の前で堂々と歌う上級生の姿に憧れ、目標にしたいという声もありました。

そして、中学生の演奏をバックに小学生が全身に思いを込めて歌い上げた「ピリーブ」。350 名以上の児童・生徒により奏でられた音楽は、会場に集まった 2,000 人の観客の心を震わせました。子どもたちの夢や希望が大きな光となって未来に放たれたように、会場いっぱい響きわたったハーモニー。それは、未来を担うはちおうじっ子たちの頼もしさ、そして子どもたちの持つ可能性の大きさを私たち大人にしっかりと教えてくれました。

1. 親が育む子どもの自信、伝えよう我が子を思う私たちの気持ち

子どもが一生懸命に取り組む姿は、親にとって嬉しいもの。こうした意欲は、家庭をはじめ、温かな人間関係の中で育まれていきます。そこには、子どもが本音を言うことができ、その思いに耳を傾けていく思いやりがあります。我が子への期待や願いはあると思いますが、まずは子どもの気持ちを受け止めてあげてください。子どもは、ときに、悪い言葉を使うもの。しかし、子どもの場合、悪い言葉を使うことで心の成長がなされることや、いたづらをする中で生きる知恵がつくことがあるとも言われています。これらも含めて子どもらしさ。安心して育める環境だからこそ、そうした態度を私たち大人に見せてくれるのです。子どもが本心を言ったときには、親は腹が立っても許してあげる。大切なことはこうした親子の心のふれあいではないでしょうか。

そして、もう一つ大事なことは、子どもの成長に寄り添うことです。成長には個人差があります。草木がその成長に合わせて水や肥料を与えることによって、花を咲かせることができるように、我が子も他と比較するのではなく、我が子の成長を信じながら愛情を注ぎ、気持ちを汲んであげることで、我が子の心に思いやりや自信が育まれていきます。

そのために大切にしてほしい日々のコミュニケーション。子は親に関心を持ってもらいたいもの。忙しく会話が時にままならくとも、温かな親のまなざしは子への関心として我が子の心に届くでしょう。我が子の気持ちに寄り添い、互いにいたわりながら、我が子の自信を育てていきたいと思います。

○ 親にとっての子どもの存在 ○

親にとって家庭は一日の終わりにリラックスでき、無邪気な子どもの姿に明日も頑張ろうという気持ちになれる場所。我が子の屈託のない笑顔は疲れを吹き飛ばし、寝顔であっても癒してくれる。我が子は何にも代えがたい存在。親子での日々の時間を大切にしてください。



2. みんなで話そう スマホのルール、守っていくのは私たち！



スマホは、今では子どもたちの間でも使われるコミュニケーションツールのひとつになりつつあります。そのため、ときに行きすぎたやりとりや身勝手な思い込みにより、友達を傷つけてしまうこともあります。そこで、大切なことは使用する際のルールをしっかりと守っていくことです。ところが、このルールを子どもたちに守らせることは簡単ではありません。それはなぜでしょう。

大人の皆さん、我が身を振り返ってみてください。一方的に与えられたルールに反発を持った経験はありませんか。「守るルール」に必要なことは「納得」です。そのため、なぜ、ルールが必要なのか。具体的にどんなルールにするのか。守れなかった時のペナルティは？ 親もこうしようと子どもと対話しながらルールを作っていきます。親は子への思いを伝えつつ、子ども自身が考える。こうした機会は、お互いの理解を深めることにもつながります。

また、こうしたスマホのルール作りは、社会一般のルールを教える良い機会にもなります。なぜなら、社会に出れば「自由」と「責任」は常に一対です。スマホによるネット利用の「自由」には、常に相手を思いやりながら、他人に迷惑をかけずに使う「責任」も存在することを教えることができます。

スマホの使用を通じて、子どもたちが自分で決めたルールを守っていくことの大切さを教えていきたいと思います。

○ こんな人はスマホ疲れになっているかも…？ ○

- すぐに返信しないといけないとプレッシャーを感じてしまう。
- 人の書き込みを、自分と比較してしまう。
- 自分の発言に対する他人の反応を気にしてしまう。

あてはまる人は、注意！！ 時にはスマホから離れる時間を作ることも大切です。



3. あいさつでつなごう！ はちおうじっ子が輝く地域

八王子市では、青少年対策地区委員会をはじめとした市民の力により、市制100周年を契機に地域のつながりを深めていくことを目指し、昨年度から特にクリーン活動・防災訓練に力を入れ、その輪を広げています。「まずは、気軽に参加してみたい。そして、地域活動が地域やそこに住む人たちをつなげ、大人も子どもも顔見知りとなる機会となってほしい。」こうした思いを持って地域では、様々な活動を展開しています。

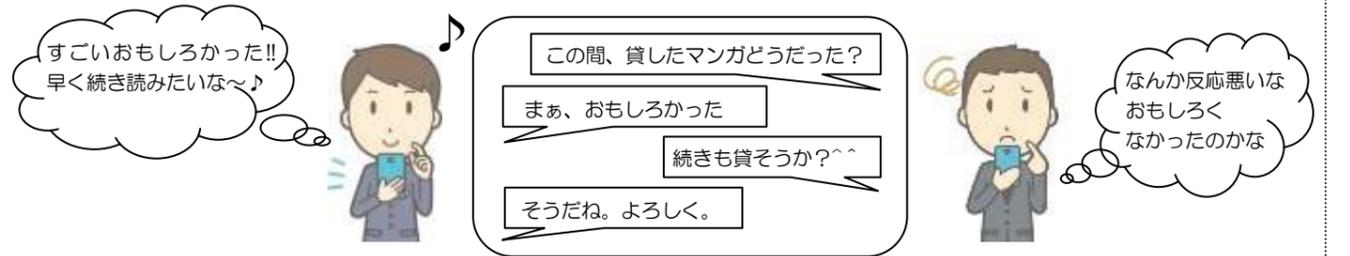
こうした地域行事などでつながった輪を広げていくために大切なことは、日々、大人から子どもたちへのあいさつを続けていくことです。あいさつには相手を認める、受け入れる気持ちが込められていると言います。ときには子どもたちから返事が返ってこないこともあるかもしれませんが、それでも、子どもたちの心の中には、自分たちを見守る人がいる安心感や認められるうれしさがきっと育まれていくことでしょう。

あいさつは人とひととの絆をつなぐ架け橋です。長い目を持って、子どもたちの健やかな成長を見守り、あいさつを続けていきましょう。



○ 家族で一緒にチェックしてみよう！！ ○

1. 昨日は、お子さんとどんな会話をしましたか。
2. お子さんが熱中していること、がんばっていることはどんなことですか。
3. お子さんの友達の名前を何人挙げられますか。
4. 今日のできごとなどを家族で話していますか。
5. 子どもが勉強など集中しているときは、ほうっておいてあげる。一方で一息ついた時には「がんばっているね」など声をかける。こうしたタイミング、つかめていますか。
6. 大人でも友達や家族と一緒にいるときに、スマホに集中してしまっていることはありませんか。
7. スマホのやり取りに疲れを感じていることはありませんか。
8. 「いいね」の数が気になって何度もスマホを見ていませんか。
9. 一日のうち、どのくらいスマホや携帯を使用していますか。また、どのような時間帯ですか。
10. どんなことでスマホを利用していますか。それは本当に必要ですか。
11. スマホのやり取りで「勘違いしてしまった！」「伝わらなかった！」という経験はありませんか。



12. 相手の気持ちを考えずに、つい勢いで友達にメッセージを送ってしまったことはありませんか。
13. ご自身のスマホのルールはありますか。そのルール、お子さんに伝えられますか。
14. フィルタリング機能で他人がお子さんの個人情報を書き込むことをブロックできることや、インターネットの利用時間を制限できることをご存知ですか。
15. ラインやメールよりも楽しい時間はどんなときですか。
16. 近所の人たちに「おはよう」「こんにちは」などあいさつをしていますか。
17. 今日は何人の人とあいさつしましたか。
18. 最近参加して楽しかった地域の行事はありますか。どんなことが楽しかったですか。